

旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会の開催及び基盤整備に向けた取組状況について（報告）

1 国際園芸博覧会推進事業の取組状況

(1) BIE（博覧会国際事務局）協議

6月22日に開催された国の閣議において、BIEへの申請手続きを進めること等が了解されました。

〈閣議了解の内容〉

- ①横浜市における国際園芸博覧会を2027年に開催することとし、BIEへの申請手続きを進める。
- ②開催申請を行うにあたり、国・関係地方公共団体・民間が協力して、その準備を進めるものとし、現下の厳しい財政事情を踏まえ、以下の方針を確認する。
 - ・今後具体的な計画の策定に当たっては、国際園芸博覧会として適正な規模・質としつつ、費用の観点から効率性を追求する。
 - ・会場建設費は、国と地方自治体と民間が1:1:1の割合で負担する。
 - ・会場運営費は、適正な入場料の設定等により賄う。等

また、6月29日のBIE総会（オンライン開催）において、大西国土交通副大臣が申請手続きの準備を進める旨のスピーチを行いました。

【参考1】国際園芸博覧会開催に向けた主な手続き

令和元（2019）年	国際園芸家協会（AIPH）開催申請・承認
令和3（2021）年	閣議了解・BIE協議
令和4（2022）年	閣議決定・BIE認定申請（予定）
令和9（2027）年	国際園芸博覧会開催

【参考2】博覧会国際事務局

（BIE：Bureau International des Expositions）

国際博覧会条約に基づき設立された、国際博覧会の監督及び調整を担う政府間組織。

(2) 2027 国際園芸博覧会推進委員会

令和3年定期総会を6月28日に書面開催しました。令和2年度事業報告及び収支決算並びに令和3年度事業計画及び収支予算が承認されるとともに、今年11月に設立を予定している園芸博の開催組織（2027年国際園芸博覧会協会（仮称））の準備を進めています。

(3) AIPH（国際園芸家協会）への報告

10月19日に開催されるAIPH博覧会委員会において、進捗状況等の定例報告をオンラインで行う予定です。

(4) 地元の推進協議会

旭区及び瀬谷区において、園芸博の開催と成功に向けた機運醸成を図ることを目的に、自治会町内会、地域の関係団体等から構成される推進協議会が設立されました。

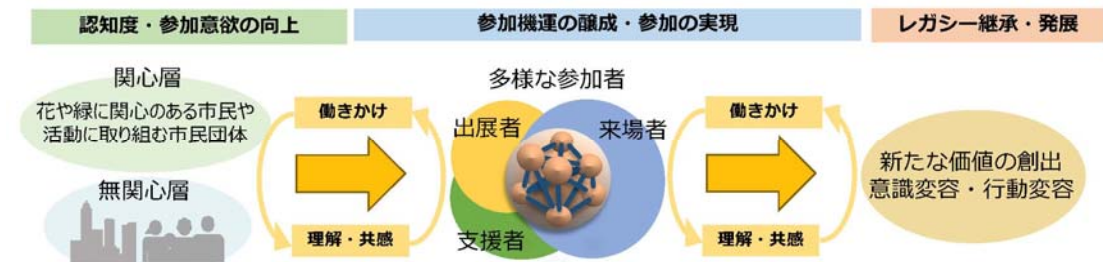
【参考3】推進協議会

設立年月	名称	会員数	会長
令和2年10月	横浜国際園芸博覧会瀬谷区推進協議会	68人	瀬谷区連合町内会自治会連絡協議会会長
令和3年7月	横浜国際園芸博覧会旭区推進協議会	74人	旭区連合自治会町内会連絡協議会会長

(5) 広報PR

園芸博に対する機運の醸成、多種多様な主体の参加を実現するため、コミュニケーション計画の深度化を進めています。

今後、博覧会協会の設立とともに全国的な広報活動を展開していきます。



〈今後の広報活動の展開イメージ〉

ア 2027 国際園芸博覧会ニュース

広報の取組や国の具体化検討会報告書の内容等を紹介するニュース第2号を6月に発行し、関係機関等に配付しました。



〈園芸博覧会ニュース第2号〉

イ 鉄道事業者との連携

8月11日から12月31日までの間、相鉄線及びみなとみらい線の駅係員や乗務員が推進ロゴマークのバッチを着用し、園芸博のPRに協力しています。また、駅のホーム等でポスターやデジタルサイネージによるPRも実施します。（相鉄線：7月～、MM線・市営地下鉄：10月～）



〈相模鉄道駅係員・乗務員〉 〈横浜高速鉄道・みなとみらい線駅係員〉

〈バッチ〉

ウ 庁内連携

- ・オリンピック・パラリンピック期間に合わせて市庁舎で開催された、「横浜スポーツガーデン」にて、パネル展示及びチラシ、シール、ニュースを配布しました。
- ・8月及び9月の「水道・下水道使用水量等のお知らせ」の裏面に、園芸博のPRを掲載しています。



〈[水道・下水道使用水量等のお知らせ]裏面〉

裏面あり

2 土地区画整理事業（まちづくり）及び新たな交通の導入・周辺道路整備の取組状況

(1) 土地区画整理事業（まちづくり）

6月から8月まで、環境影響評価準備書及び都市計画案の公告・縦覧を行い、7月に環境影響評価準備書の説明会を開催しました。引き続き、事業実施に向けた環境影響評価や都市計画の手続きを進めます。

また、区画整理の事業化に向け、地権者や国と調整を進めるとともに、基盤整備の詳細設計を進めています。

観光・賑わいゾーンの土地利用については、地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」が、6月に「三菱地所株式会社」を検討パートナーに選定しました。テーマパークのコンセプト（参考4）が協議会に示されており、具体化に向け検討を進めています。

市も、将来的に1,500万人が訪れる郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、引き続き、「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」の検討を支援していきます。

【参考4】テーマパークのコンセプト

① 全体コンセプト

上瀬谷の自然と共生しつつ、最新テクノロジーを活用し、訪れる方々が夢や希望を享受できる未来のアミューズメントパークを実現し、横浜の新たな一大観光拠点を目指します。

② 基本コンセプト

- ・国際園芸博覧会のレガシーとして、大自然を体験しながら、プレミアムな食体験や、潤いや癒しを感じられる宿泊施設、自然体感型のアクティビティが融合するエリアを形成
- ・クールジャパンコンテンツを中心に、最先端技術の導入や自然と融合した、新しい感動や興奮を感じられるエンターテイメントエリアを形成
- ・最先端のモビリティやエネルギー循環、グリーンインフラなど、次世代型スマートシティの実現や、公園・農業・物流のゾーン全体が連携・融合した取組を実現



【参考5】インフラ部・インフラ外部の内容

	想定事業費	整備内容
インフラ部 (市が整備)	約320～340億円	・トンネル ・駅舎躯体 ・交通安全施設など
インフラ外部 (運行事業者が整備)	約320～340億円	・車両、 ・駅舎内装、 ・電気、通信設備など

(2) 新たな交通の導入・周辺道路整備

ア 新たな交通の導入

事業内容の確定に向けて、路線計画や構造物の検討、事業スキームの整理を行い、軌道法の特許申請に向けた取り組みを進めています。

事業スキームについては、トンネル構造物などの「インフラ部」を本市が整備し、車両や電気設備などの「インフラ外部」を運行事業者が整備する役割分担を想定しています。

運行事業者については、金沢シーサイドライン(新交通システム)の運行実績を有する、株式会社横浜シーサイドラインへ事業参画についての検討を9月7日に依頼しました。

今後、収支採算性や国補助制度の活用などについて、具体的な検討・調整を進めていき、年内に運行事業者を決定し、その後速やかに特許申請を行うことを目指します。

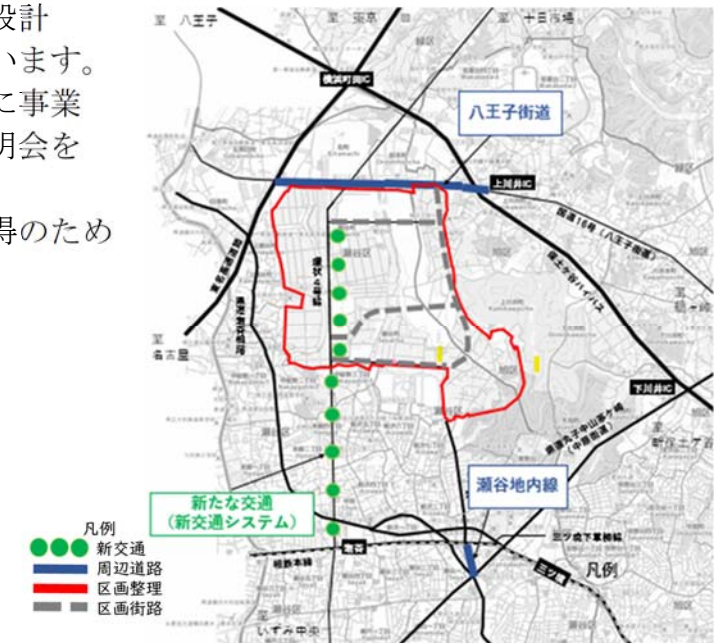
イ 周辺道路整備

八王子街道は拡幅整備に向け、詳細設計及び用地取得に向けた調査を実施しています。

瀬谷地内線は、整備路線として6月に事業認可を取得し、道路設計・用地補償説明会を2回開催しました。

引き続き、詳細設計検討及び用地取得のための調整を進めます。

【参考6】新たな交通と周辺道路位置図



【参考7】令和3年度以降の主なスケジュール

	国際園芸博覧会 推進事業	土地区画整理事業 (まちづくり)	新たな交通の導入 周辺道路整備
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ●事業検討・機運醸成【市】 ●環境影響評価配慮書の公告・縦覧【市】(4月) ●「横浜国際園芸博覧会具体化検討会」報告書公表【国】(5月) ●閣議了解【国】(6月) ●BIE 協議(認定申請に向けた協議)【国】 ●「2027年国際園芸博覧会協会(仮称)」設立【推進委員会】 	<ul style="list-style-type: none"> ●地権者との調整 ●設計・測量・調査の実施 ●都市計画案公告・縦覧(6月～8月) ●環境影響評価準備書の公告・縦覧(6月～8月) 	<ul style="list-style-type: none"> ●設計・測量・調査の実施 ●用地取得 ●都市計画市素案の公告・縦覧、説明会の実施 ●軌道法特許申請 ●都市計画案公告・縦覧 ●環境影響評価準備書の公告・縦覧
令和4年度～	<ul style="list-style-type: none"> ●BIE 認定申請、承認【国】 ●環境影響評価方法書・準備書・評価書の公告・縦覧【協会】 ●博覧会基本計画の策定、会場設計、工事【協会】 	<ul style="list-style-type: none"> ●地権者との調整 ●環境影響評価評価書の公告・縦覧 ●都市計画決定 ●事業計画決定 ●工事実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境影響評価評価書の公告・縦覧 ●都市計画決定 ●軌道法工事施行認可申請 ●用地取得 ●工事実施
令和9年3月	国際園芸博覧会の開催		